

部の使命	1 市民満足度の向上を図るとともに、職員が喜びと誇りを持てる職場づくり 2 「ひと つなぐ まち」をモットーに安全安心な協働によるまちづくりの一層の推進 3 市民文化の創造と振興、並びに伝統文化の保存継承を図る。				
課の使命	本市の管理する世界遺産及び博物館の管理運営や、文化財の保存、維持管理及び活用のための必要な措置を講じ、もって市民の文化水準の向上に資する。				
分類	項目 ※部又は課	達成水準(どの水準まで)	達成手段(どのように)	達成度	達成状況、未達成原因及び改善策
組織目標	1 那覇市立壺屋焼物博物館の常設展観覧者増	入館者 29,945人 以上 ※平成29年度常設展観覧者の1%増	①常設展の充実 ②特別展の実施 ③出前こども博物館事業実施による周知 ④地域と連携したイベントの実施 ・壺屋でシーサーの日 ・壺屋やちむん通り祭り 等	未達成	平成30年度の入館者総数は27,332人で、目標には2,613人及ばなかった。 未達成の主な要因は、台風24号・25号の影響による2日間の臨時休館、無料開館日(文化の日)の雨天による11月入館者の前年度比37%の減。 企画展、常設展の充実を図り、貸ギャラリーの稼働率を高める。
	2 玉陵の入園者増	入園者 63,856人 以上 ※平成29年度入園者の1%増	①世界遺産解説会の開催 ②観光関係団体との連携 ③広報強化	達成	平成30年度の入園者総数は64,531人で、目標を達成した。 達成の主な要因は、玉陵の国宝指定の効果による入園者の増。
	3 識名園の入園者増	入園者 73,225人 以上 ※平成29年度入園者の1%増	①世界遺産解説会の開催 ②観光関係団体との連携 ③広報強化 ④地域と連携したイベントの開催	未達成	平成30年度の入園者総数は72,381人で、目標には844人及ばなかった。 未達成の主な要因は、台風24号・25号の影響で5日間の臨時休園、12日間の一部閉園を余儀なくされたことによる入園者の減。 継続して世界遺産解説会を奇数月に開催する。
	4 収蔵庫の確保及びあり方の検討	ワーキンググループの設置及び開催	関係課の職員を構成員とするワーキンググループを設置し、遺物の収蔵庫の確保及びあり方について検討する。	達成	収蔵庫の確保及びあり方検討ワーキンググループ設置要領を制定し、WG会議を3回開催した。 会議では仲井真収蔵庫の移転先について検討を行った。